



AIを駆使した医薬業務支援クラウドサービスの企画・開発・コンサルテーション

CEO : 松尾 聖信 (医薬・PV(Pharmacovigilance)システムの企画・開発・コンサルティング、医薬・PV業務の受託)

CTO : 大谷 優一 (AI・クラウド・モバイル・最先端技術を駆使した医薬・大学・公共団体向けソフトウェアの開発)

本社 : けいはんなサイエンスシティ (京都府 相楽郡 精華町)

Consulting

医薬・臨床開発・PV業務の効率向上・生成AIによる文献解析・お困りごとの相談

AI・クラウド・モバイル活用の計画策定・検討・PoC・プロトタイプ開発

LLMアプリ開発プラットフォームの活用・導入支援 (Dify、AgentX)

Cloud Services (AI・LLM・NLP) の例

PVassist	<ul style="list-style-type: none">✓ 症例・文献のスクリーニング・解析・評価業務の強力なアシスタント✓ 医学文献から様々な図を自動作図 (因果関係検討図・他)
Q&Aサービス	<ul style="list-style-type: none">✓ 医師・消費者の問合せ対応・LLM・RAGによる独自情報の有効活用✓ メディカルアフェアーズ部門・他での活用
音声要約	<ul style="list-style-type: none">✓ 各種会議(症例評価検討会、他)、診療面談等の会話をその場で要約
Shuttle Draw	<ul style="list-style-type: none">✓ 文献・症例報告などのPDFを画面に放り込むだけで、フローチャート、マインドマップ、状態遷移図などを作成できます。PDF内の画像も認識して回答✓ チャットボットなので、作図指示だけでなく、様々な質問が可能
Shuttle Labo	<ul style="list-style-type: none">✓ 臨床検査伝票・医学文献を解析し、臨床検査データを自動抽出します。✓ 画像・PDFファイルをブラウザ画面に放り込むだけです。
Shuttle Case	<ul style="list-style-type: none">✓ 症例経過図をガントチャートで時系列に自動作図 (数時間を1分に)✓ 症例報告・医学文献を解析し、転帰、診断名、疾病、処置、医薬品、検体・生体検査などを時系列に図化
Shuttle CTCAE	<ul style="list-style-type: none">✓ CTCAE (Common Terminology Criteria for Adverse Events) の検索✓ 有害事象を入力すると、CTCAEグレードを自動判定✓ あいまいな表現、複合語、文章もAIが判断・検索

実績 : 大手製薬企業、CRO、異業種のコンサルテーション

AI・クラウドサービスの企画・開発・コンサルティング経験を駆使し、各種ご相談・開発に応じます。

Shuttle Bros.株式会社

電話 : 0774-93-3698

info@shuttlebros.com

<https://www.shuttlebros.com/>



Web Serviceお試し(日英対応)

<https://www.shuttlebrain.com/>

BLOG

<https://www.shuttlebros.com/blog>



Consulting

医薬・ファーマコビジランス業務のDXをご支援します。

Shuttle Bros.の代表 松尾聖信 は、30年間、医薬・ファーマコビジランス業務をご支援してきました。これまでの知見を基に、最先端技術を活用しながらご支援します。

特に、ここ数年は人工知能の中でも自然言語処理の進展には目を見張るものがあります。3ヵ月経てば、これまでの技術が陳腐化するような時代です。こういう時代に、自ら調査しながらDXを推進することは並大抵のことではありません。

また、計画立案・予算化を半年間で行った後にシステム導入作業に着手するようなことをしていると、その半年の間に安価で高性能なサービスが実用化されてしまう時代です。これまでと同じような進め方では目的を達成することが困難な時代です。早期に着手し、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら実用化させるのが成功への近道です。

一方、医薬・ファーマコビジランス関連の開発ベンダは、基本的に自社製品の販売・導入が仕事です。また、医薬・ファーマコビジランス業務も理解した経験豊かなAI・ITエンジニアは非常に限られています。

お客様の業務担当者はとにかく忙しいため、DXに興味を持たれても推進に相当なエネルギーが必要です。弊社をご担当者を支えながら、人手に頼りがちな医薬・ファーマコビジランス業務を最先端技術の力を活用し、「もっと簡単に」、「もっと早く」、「もっと楽しく」を実現します。

